

関東地方整備局管内【一般部門】認定案件 活動概要

登録有形文化財を活用したまちづくり ～地域に広げる活動の輪～ (茨城県・桜川市)



町並みを利用した、町なか美術館



街並み案内(敷地内の建物近くで)

<活動内容>

伝統的な建物・町の活気が失われつつある中で、町並み景観を守りながらその特徴を生かして町の活性化を目指す活動として、真壁地区の歴史的建造物や郷土の歴史、伝統的な景観、文化財の特徴などを来街者に案内している。個人所有の建造物でも案内人が所有者に声をかけて内部見学を可能としており、真壁の歴史や文化をより深く理解する機会になるほか、所有者との会話を楽しむこともでき、町に活気や賑わいをもたらしている。また、年2回実施される地元の子ども達の作品展では町中の建物に展示された作品を探しながら町全体を歩くことになるため、住民にとっても地域の特徴や魅力を再発見できる機会を創出。

ディスカバーまかべ/真壁街並み案内ボランティア

<対象となる社会資本>

登録有形文化財をはじめとする真壁地区の歴史的建造物 ※管理者:茨城県桜川市

霞ヶ浦の豊かな水辺環境の再生へ向けて ～小さな自然再生から広がる人と水辺のふれあい～

(茨城県・美浦村)



維持管理(水路内の植生間引き)



環境学習(釣った魚類の観察)

<活動内容>

漂着ゴミが多く植生帯や生物も減少してきた霞ヶ浦の水辺環境を改善すべく「後世に残そうゴミのない美しい水辺を!」を目標に、清掃活動や水辺環境の保全・再生、啓発活動に取り組んでいる。活動は月2回の草刈り、樹木伐採、清掃活動などの維持管理や生物調査、植生浄化施設の維持管理や環境学習の実施など多岐に渡る。環境学習では魚釣り体験で水質調査を行い、親子で霞ヶ浦の水環境を考える機会を創出。また、水辺で遊ぶ時の注意点や水辺環境の保全等を学ぶことで、再生への理解向上に寄与している。更に、手作りの看板が散歩やサイクリングに訪れた人々の目を楽しませ地域活性化にも寄与している。

NPO法人 水辺基盤協会

<対象となる社会資本>

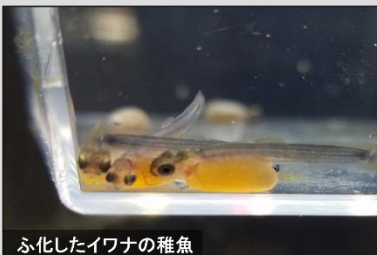
一級河川 霞ヶ浦(清明川植生浄化施設) ※管理者:関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所

いつも魚にあえる川づくり ～日光市のニッコウイワナ復活プロジェクト～

(栃木県・日光市)



イワナの生態調査



ふ化したイワナの稚魚

<活動内容>

ニッコウイワナは絶滅が危惧され、分布域でも土砂流入により生息環境の消失が進行している。「市民の力で大谷川のニッコウイワナを守ろう!」をテーマに、2019年から市内の研究所、関連行政部局、企業及び小学校等と協働し、ニッコウイワナの生態調査、増殖活動、生息環境保全活動、環境学習などを実施している。環境学習活動では、地元小学生とイワナの調査、土砂を利用したイワナの隠れ家作りを実施し、卵やふ化の様子を家庭の冷蔵庫で観察する機会も提供。さらに成長を見守ったイワナを川へ放流することでイワナの減少原因や環境問題に親子の目が向くよう導くなど、未来の川づくり活動発展へ寄与している。

ニッコウイワナに学ぶ会

<対象となる社会資本>

利根川水系 鬼怒川支流 大谷川 ※管理者:栃木県

自然の遊び場「馬入水辺の楽校」づくり

(神奈川県・平塚市)



みんなの力で生き物いっぱいの
楽校づくり(とんぼ池づくり)



フィールドミュージアムづくり
(案内看板の設置)

<活動内容>

川の自然と触れあえる場づくりを図るため、不法投棄のゴミを処理し自然環境を復元。行政との協働により、馬入水辺の楽校を開校し「子どもが元気、生きものが元気、地域が元気」を合言葉に、「相模川いい川づくり」「川の自然と触れあえる場づくり」「自然体験・環境教育の推進」を3本柱に多様な活動を展開している。市民参加によるフィールドミュージアム(自然生態園)づくり、草刈り等の環境管理活動、年間80回余の環境学習活動、環境保護活動と自然観察を合わせた取組など、子どもたちと自然との触れあい促進に寄与。活動の成果が実り、年々参加者が増加し、地域活性化にも寄与している。

NPO法人 暮らし・つながる森里川海

<対象となる社会資本>

一級河川 相模川(馬入水辺の楽校) ※管理者:平塚市・関東地方整備局 京浜河川事務所